

# 下水道設計委託成果品等作成様式集



平成 24 年 4 月

(財)東京都新都市建設公社

## ○設計図の作成について

設計図の作成にあたり、作成方法等について担当職員と十分協議して行うものとする。

### (1) 案内図

案内図 (S=1/10, 000~30, 000) は地形図を用いて作成し、設計箇所及び仮水準点を記入すること。

### (2) 系統図

系統図 (S=1/2, 500) は設計対象区域について、事業計画の排水施設平面図により作成し、以下の事項を記入する。

町名及び番地、河川、学校等公共施設名、路線番号、人孔番号、管渠の形状、延長及び流下方向等。また、余白の指定位置に案内図、水準基標と位置、方位、凡例を記入するとともに、注記として工法、施工区分、基礎種別、埋戻方法、管渠の材質等の項目を記入すること。

### (3) 路線詳細図

平面図を上部に描き、平面図路線に該当する路線の縦断面図をその下部に描く。原則として下水流下方向を右方向とし、平面図と縦断面図横方向の縮尺を合わせる。

①平面図 (S=1/500) は施工箇所の管渠の平面位置、形状、管径、勾配、路線番号、区間距離、柵・取付管等附属施設、地下埋設物の名称及び位置等を記入し、隣接構造物、家屋その他構造物と明確に区分できるようにする。

②縦断面図 (S=縦 1/100、横 1/500) は、平面図と同一記号を用いて次の事項を記入すること。

管渠の位置、形状、管径、勾配、平面図との対照番号、区間距離、管底高及び土被り、地盤の位置及び地盤高、マンホールの位置及び種類、工法、管種舗装種別及び施工区分、推進立坑の発進・到達の区分及び仮設方法、下水の放流先の名称、高水位、低水位、平水位、並びに現在及び計画の河床等の位置及び高さ、河川、鉄道、地下道及び重要な埋設物など管渠を横断する主要な施設の位置及び名称、その他。

### (4) 詳細図

詳細図 (S=1/100~1/300) は次の場合に作成する。

地下埋設物輻輳箇所、伏越箇所、雨水吐口設置箇所、民有地占用箇所、家屋等近接施工箇所等で特に詳細図を必要とし、担当職員が指示する場合に作成する。なお、記入要綱は平面図と同じとする。

### (5) 横断面図

横断面図 (S=1/50~1/100) は次の事項について作成すること。

道路巾員の拡大又は縮小箇所、構造図の断面変化、地下埋設物の位置及び種別の変化等を生じる箇所、擁壁、石垣等工事の施工によって影響を受けることが心配される箇所等で担当職員が指示するもの。

### (6) 構造図

構造図 (S=1/10~1/100) は公社の「下水道設計標準」以外のものについては、すべて作成する。

(7) 仮設図

仮設図 (S=1/10~1/100) は山留、覆工、立坑設備、薬液注入等、特に仮設図を必要とし担当職員が指示するもの。

(8) 道路復旧図

道路復旧図 (S=1/10~1/500) は、次の事項について作成する。

舗装復旧種別、復旧境、復旧延長及び復旧幅、復旧舗装断面等。

(9) 樹位置図

樹位置図 (S=1/500) は、公図写図に樹調査で定めた樹の大きさ、深さ、位置を記載する。

(10) その他

占用協議、施工打合せ等で必要な図面で担当職員が指示するもの。

○成果図書の作成について

提出する成果図書の様式、部数は次表を標準とする。

1. 認可関係図書

図書名	縮尺	形状寸法	提出部数	適用
(1)事業計画		A 4 版	30 部	
(2)事業計画説明書		A 4 版	30 部	
(3)下水道計画一般図 (汚水及び雨水)	1/10,000 程度		陽画 5 原図 1	
(4)主要な管渠の区画割施設平面図 (汚水及び雨水)	1/25,000 程度		陽画 5 原図 1	
(5)主要な管渠縦断面図 (汚水及び雨水)	横 1/2,500 程度 縦 1/100 程度		陽画 5 原図 1	
(6)主要な管渠の流量計算			陽画 5 原図 1	
(7)ポンプ場施設図 平面図 施設縦断面図 (水位関係含む)	1/500 程度 1/100 程度		陽画 5 原図 1	
(8)処理場施設図 平面図 水位関係  フローシート図 水処理施設断面図 汚泥処理施設断面図 管理棟・汚泥棟平面図	1/500 程度 横任意 縦 1/100 程度  1/100 程度 1/100 程度 1/100 程度		陽画 5 原図 1	
(9)下水放流先を明らかにする図面	縮尺		陽画 5 原図 1	

(10)その他参考資料 区画割平面図（汚水・雨水） 枝線の管渠流量計算	縮尺		1式	
(11)打合せ議事録	縮尺		1式	

## 2. 基本設計及び詳細設計関係

図書名	縮尺	形状寸法	提出部数	適用
(1)流量表		A版	原図 1	
(2)区画割施設平面図	1/2,500		陽画 3	
(3)系統図	1/2,500	A版輪郭入り	原図 1 陽画 5	
(4)路線詳細図	平面図 1/500 縦断面図 横 1/500 縦 1/100			
(5)構造図	1/10～1/100			
(6)仮設図	1/10～1/100			
(7)道路復旧図	1/10～1/100			
(8)道路台帳写図	1/500	A版輪郭入り	原図 1	
(9)埋設物及び地質調査計画書	1/500～ 1/2,500	A版輪郭入り	原図 1 陽画 3	
(10)柵位置図	1/500～ 1/600	A版輪郭入り	陽画 3	
(11)縮刷版		A 2 版	陽画 3	(3)～(7) を一括製本
(12)数量計算書		A 4 版	2部	A4ファイル に一括して 綴じ込む
(13)構造計算書				
(14)工法検討書				
(15)報告書		A 4 版	2部	
(16)占用申請図書			1式	
(17)土地権利者調査資料			1式	
(18)リサイクル計画書			1式	

### 3. 既設管調査及び在来管調査関係

図書名	縮尺	形状寸法	提出部数	適用
(1)系統図	1/2,500	A版輪郭入り	原図 1 陽画 3	案内図を挿入
(2)路線詳細図	平面図 1/500 縦断面図 横 1/500 縦 1/100			
(3)調査報告書		A 4 版	2 部	

### 4. その他資料等

図書名	提出部数	摘要
(1)対外折衝議事録	2 部	調査報告書に一括綴じ込み
(2)打合せ議事録		
(3)現地踏査調査資料		
(4)埋設物調査資料		
(5)測量野帳	1 式	
(6)その他担当職員が支持した資料	1 式	

- (注) 1. A,B版の標準寸法によりがたい場合は、担当職員の指示する形状寸法にすること。
2. 製本図面表紙、流量表、数量計算書、構造計算書等には、受託者の会社名を記すこと。
3. 成果図書は電子媒体も併せて提出する。納品に使用する電子媒体はDVD-RまたはCD-Rのいずれかによることとするが、CD-Rによる納品を優先とする。
- 電子媒体で保存する成果図書の種類、作成ソフト、保存形式等は担当職員と協議すること。